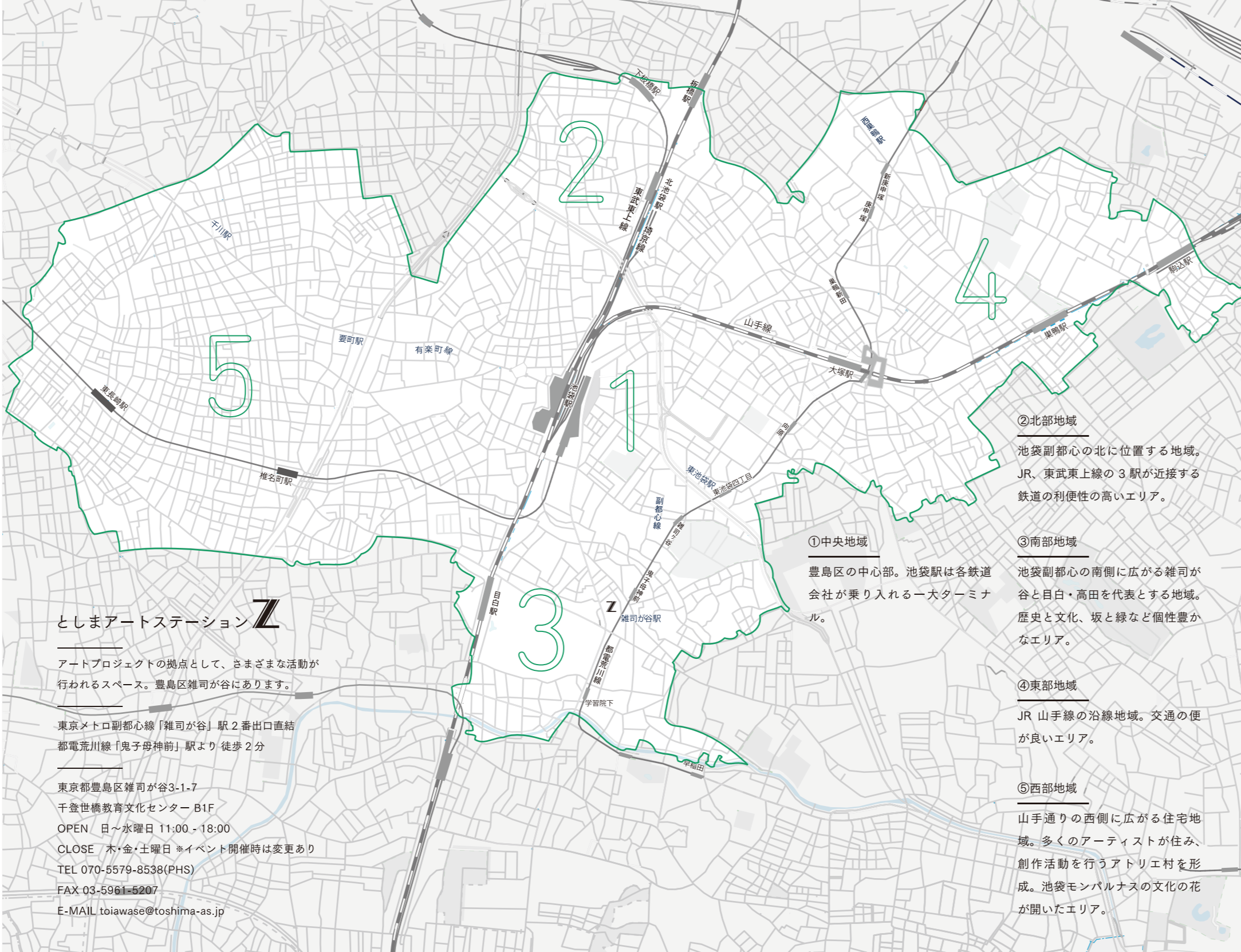


TOSHIMA ART STATION KOSO

[としまアートステーション構想リーフレット2012]

| 発行日 | 2012年7月25日
| 編集 | トム・ヴィンセント + 佐藤慎也
| 執筆 | 廣川淳哉
| デザイン | 飯田将平
| 表紙写真 | 松葉直
| 編集・発行 | としまアートステーション構想事務局
〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷 3-1-7
千登世橋教育文化センターB1F としまアートステーション「Z」



としまアートステーション構想
東京都豊島区雑司が谷3-1-7
千登世橋教育文化センターB1F

としまアートステーション Z

アートプロジェクトの拠点として、さまざまな活動が行われるスペース。豊島区雑司が谷にあります。

東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅2番出口直結
都電荒川線「鬼子母神前」駅より徒歩2分

東京都豊島区雑司が谷3-1-7
千登世橋教育文化センター B1F
OPEN 日～水曜日 11:00 - 18:00
CLOSE 木・金・土曜日 ※イベント開催時は変更あり
TEL 070-5579-8538(PHS)
FAX 03-5961-5207
E-MAIL toiwase@toshima-as.jp

AREA GUIDE

<http://toshima-as.jp>

②北部地域

池袋副都心の北に位置する地域。JR、東武東上線の3駅が近接する鉄道の利便性の高いエリア。

③南部地域

池袋副都心の南側に広がる雑司が谷と目白・高田を代表とする地域。歴史と文化、坂と緑など個性豊かなエリア。

④東部地域

JR 山手線の沿線地域。交通の便が良いエリア。

⑤西部地域

山手通りの西側に広がる住宅地域。多くのアーティストが住み、創作活動を行うアトリエ村を形成。池袋モンパルナスの文化の花が開いたエリア。

①中央地域

豊島区の中心部。池袋駅は各鉄道会社が乗り入れる一大ターミナル。

アートサポートでは、アート活動を支援するアートコンシェルジュを用意。人と人をつなぐアートコンシェルジュを起点に、人と人、さらに人と街をつなぐアート活動をサポートする取り組みです。

としまアートステーション構想がその先に見据えるのは、新しい公共活動のあり方。参加者が主体的に文化活動に関わることができる環境を用意することで、自主的・自発的に取り組める、真の公共活動が生まれます。

用意された公共から主体性のある公共へ。アート活動を通じて「人と人」「人と街」の間に、強く暖かい絆が生まれる。豊島区をそのような街にしていくために、今、アートを試み始めます。

としまアートステーション構想は、東京・豊島区を舞台に、地域で生まれたアート活動を行う人々の想いや熱意を育てる取り組みです。対象となるのは、豊島区に暮らす人々だけでなく、学生やアーティストといった、この地でアートに携わるすべての人々。

個性豊かな東京23区の中でも、古くから続く地域の面影をひときわ色濃く残す「東京・ローカル」とも言えるこの豊島区に、多くの人々が集い、さまざまなアート活動が開くことが、としまアートステーション構想の目標です。

この構想では、豊島区で生まれる自主的なアート活動を支援していくために、アートプロジェクトとアートサポートという、2つの取り組みを行っています。

アートプロジェクトは、区内さまざまな場所でアーティストによるプロジェクトを展開する取り組み。アートを用いて街の新しい側面にスポットを当てる多様なプロジェクトは、豊島区に暮らす人々を刺激する新しいアイデアを運んできます。

ひびのこづえ

コスチューム・アーティスト

舞台衣装などに使われた布のはぎれで、参加者とともに“虫”をモチーフにしたブローチをつくるワークショップ



虫をつくるワークショップ



岸井大輔

劇作家

街の可能性を話し合うため、いろいろな人が一緒に集う“テーブル”を探し、つくり、考えます

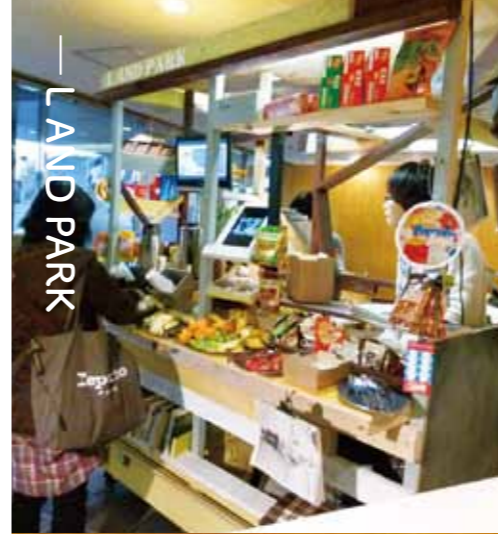
阿部初美

演出家

演劇の手法を用いて、参加者とともに“子育て”を考えるワークショップ



としまで子育てを考えるワークショップ



LAND PARK

カフェユニット

早朝の出会いを演出する朝食“モーニング”と移動できる“KIOSK”とともに、さまざまな場所を公園として考えます

EAT&ART TARO

アーティスト

中山晴奈 フードデザイナー



EAT&ART TARO

アーティスト

設定したテーマに沿って飲食店や商店から食品を買い参加者たちが語り合う、持ち寄り制の“食から街を見直す”パーティー

アートサポート

としまアートステーション

「Z」を中心にアート活動を始めるときのためのサポート活動を行います

アートコンシェルジュ

参加者の自発的なアイデアに対して、自活性、継続性を促すための相談を行います



Zの会

としまアートステーション構想に関わる人々のための公開勉強会を実施します



セルフカフェ

誰もが気軽に立ち寄り、集うことのできる場所を提供します



としまアートステーション構想

豊島区文化政策推進プランのシンボルプロジェクトである「新たな創造の場づくり」のプログラム及び東京文化発信プロジェクト事業「東京アートポイント計画」の一環として、NPO法人アートネットワーク・ジャパンとの連携により実施しています。

豊島区の文化政策
豊島区は2003年3月に策定した「豊島区基本構想」のなかで、文化によるまちづくりを基本方針の柱の一つとして位置づけ、05年9月「文化創造都市宣言」、06年4月に「豊島区文化芸術振興条例」を施行、区民・NPO法人・企業・大学等地域の人々とともに、「文化の風薫るまちとしま」の実現に向け、様々な文化施策・事業を展開しています。このような長年にわたる取り組みが高い評価を受け、09年1月に東京都で初となる「平成20年度文化庁長官表彰〈文化芸術創造都市部門〉」を受賞しました。

東京アートポイント計画
東京の様々な人・まち・活動をアートで結ぶことで、東京の多様な魅力を地域・市民の参画により創造・発信することを目指し、「東京文化発信プロジェクト」の一環として東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が展開している事業です。

NPO法人アートネットワーク・ジャパン
2000年に設立したアートNPOです。芸術の社会的な力を取り戻すために国際的視野を持って「フェスティバル/トーキョー」や「にしすがも創造舎」の企画運営を中心に、さまざまなプロジェクトを立ち上げています。東京都や豊島区をはじめとする自治体と強力なパートナーシップを組み、多くの文化事業を手がけています。



ポットトラックパーティーとしま

